



東京都下水道事業
経営計画

TOKYO SEWERAGE MANAGEMENT PLAN

2026



「経営計画2026」の策定に当たって

東京都の下水道事業は、明治17年の神田下水の整備に始まり、高度経済成長期を経て、都市の成長とともに役割を拡大するなど、140年以上の歴史を積み重ねてきました。下水道普及率は区部で100%、多摩地域では99%に達し、首都東京を支える基幹インフラとして都民生活と都市活動を支えています。

一方で、近年の激甚化・頻発化する豪雨や令和6年能登半島地震の発生等により、下水道に対する都民の関心は高まっています。また、国においても、老朽化する下水道施設の増加や自然災害の脅威への対応、下水道に関わる人材獲得の困難性を踏まえ、インフラの強靱化や広域連携等、下水道政策の強化や転換に取り組んでおり、下水道事業を取り巻く環境は変化し続けています。

こうした状況の中、都の下水道においては、これまでも将来を見据えた中長期的な視点を持って、下水道施設の再構築や適切な維持管理等、先人から受け継いできた下水道本来の役割を担うための施策を実施してきました。今後も、これらの施策を着実に推進することに加えて、気候変動など著しく変化する環境や、災害への対応等の新たな課題にも対応するため、知恵を出して先手先手の取組を進めることが重要となります。

このたび策定した「東京都下水道事業 経営計画2026」では、「レジリエンス(強靱性)」と「サステナビリティ(持続可能性)」の確保を基本コンセプトに掲げ、今後5年間の目標と取組を明確にしました。

本計画では、下水道施設の計画的な再構築、浸水対策の着実な推進、地震への備えの強化、カーボンハーフの達成に向けた脱炭素化の取組を推進します。さらに、新たな技術開発、DXやAIを活用した維持管理の高度化、事業を支える人材の確保と育成、財政基盤の強化にも取り組み、強靱で持続可能な事業運営を目指します。

東京の下水道は、24時間365日、止まることなく都民の暮らしを支え続けています。私たちは、東京の成長を支え続ける使命感を持ち、未来を見据え、下水道の価値を次世代に確実に引き継ぐため、これからも職員一丸となって挑戦を続けてまいります。

令和8(2026)年3月 東京都下水道局長 藤橋 知一





▶ 第一部 計画の基本的事項及び概要

01	下水道の役割	2
02	下水道のしくみ	4
03	区部公共下水道と多摩地域の流域下水道	6
04	下水道事業を取り巻く主な課題	8
05	経営計画の位置づけ及び策定の考え方	12
	Key topic これからの維持管理と再構築	14
06	各施策の計画期間内の主な取組	16
07	施策別事業費・主な実施内容一覧(区部)(多摩地域)	22
	History 東京の下水道の140年の歴史	26

▶ 第二部 主要施策の展開

1 強靱な下水道の構築

① 区部公共下水道の取組

01	再構築(下水道管)	30
02	再構築(水再生センター・ポンプ所)	34
03	浸水対策	38
	コラム「流出解析シミュレーションの活用」「これまでの下水道施設の整備効果」「浸水対策の整備水準のレベルアップ」 「雨をリアルタイムに把握 ～東京アメッシュ～」	46
04	震災対策(下水道管)	52
05	震災対策(水再生センター・ポンプ所)	56
06	汚泥処理の信頼性強化と効率化	60
07	下水道管の維持管理	62
	コラム「下水道管の腐食について」「マンホールから空気を逃がす!」「下水道台帳情報システムによるデジタル化の取組」	65
08	水再生センター・ポンプ所の維持管理	68
09	ビルピット排水対策の推進	72
	コラム「水再生センターの維持管理のはなし」「水質規制のはなし」	74

② 多摩地域の流域下水道の取組

10	再構築	76
11	雨水対策	78
12	震災対策	80
13	維持管理の充実	82
14	市町村との連携強化	84
15	雨天時浸入水対策	86
	コラム「多摩地域の安定的な下水処理を支える連絡管とバックアップ体制」 「SDGsと下水道事業」	88
		89

2 脱炭素・良好な水環境への貢献

① 区部公共下水道の取組

16	公共用水域の水質向上への貢献(雨天時放流水質の向上)	90
	コラム「合流式下水道における雨天時放流水質向上の取組」	92
17	公共用水域の水質向上への貢献(処理水質の向上)	94

② 多摩地域の流域下水道の取組

18	公共用水域の水質向上への貢献	96
----	----------------	----

③ 区部公共下水道及び多摩地域の流域下水道の取組

19	エネルギー・地球温暖化対策	98
	コラム「東京湾の更なる水質向上への貢献」「2050年ゼロエミッションへの挑戦」	102

3 下水道の未来に向けた取組

20	主要施策を支える技術開発の推進	104
	コラム「技術開発の拠点!下水道技術研究開発センター」	109

▶ 第三部 持続可能な経営基盤の確立

01	事業運営体制	112
02	グループ経営の推進	114
03	人材の確保とエンゲージメントの向上	116
	コラム「下水道技術実習センター」	119
04	DXによる仕事の進め方の見直し	120
05	危機管理対応力の強化	122
06	東京下水道の広報戦略	124
07	東京下水道の国際展開	128
08	下水道資源の有効利用	130
09	企業努力	134
10	財政収支(区部下水道事業)	136
11	財政収支(流域下水道事業)	138
12	財政収支の長期推計	140
	コラム「下水道事業の財政のしくみ」	142

処理区別重点事業

01	処理区別重点事業 区部	146
02	処理区別重点事業 多摩地域	158

事業指標、事業効果の一覧

160